

国立能楽堂で綾子舞を公演

国立能楽堂で、綾子舞が平成 22 年以來 8 年ぶりに公演します。

これは、《月間特集・能のふるさと・越路》（中世のおもかげ—柏崎）と銘打った企画公演で、越後・柏崎の地に 500 年以上受け継がれ、中世の風流踊りや初期歌舞伎のおもかげを現代に伝える「綾子舞」の公演を行うものです。また、当市が舞台となっている能楽作品「柏崎」の上演も行われます。

- 1 日 時 7 月 29 日（日曜日）午後 1 時開演（終演予定：午後 4 時）
- 2 会 場 国立能楽堂（東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1）
- 3 公演内容 綾子舞 おほらぎおどり 小原木 踊（下野）
しもの
えび 海老すくい（下野）
しょうじょうまい 猩々舞（高原田）
たかんだ
こきりこおどり 小切子 踊（高原田）
能 「柏崎」ほうしょう（宝生流）
- 4 チケット 予約申し込み 国立劇場チケットセンター（電話番号 0570-07-9900）
予約開始 6 月 9 日（土曜日）午前 10 時～
入場料 正面：6,300 円
脇正面：4,800 円（学生 3,400 円）
中正面：3,200 円（学生 2,200 円）

能「柏崎」（宝生流）のあらすじ

かしわざきの
越後・柏崎の女の元に夫（柏崎殿）の死と、息子が行方知れずとの知らせが届きます。悲しみのあまりさまよう母は阿弥陀如来への祈りにより信濃・善光寺で息子と再会を果たします。

こうじやくじ
西本町にある香積寺（曹洞宗）内には、能「柏崎」の前段の舞台である「柏崎勝長の館跡」やかたあととされる石碑があります。物語中の「柏崎殿」とは柏崎勝長と伝えられており、香積寺は柏崎勝長の

菩提寺です。柏崎勝長の遺言によって館を剣野から現在の西本町に移転したと伝えられています。

（参考：柏崎市教育委員会 編集・発行「柏崎の文化財」）



▲柏崎勝長邸跡